

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年11月13日(2008.11.13)

【公開番号】特開2007-228046(P2007-228046A)

【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2006-43966(P2006-43966)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2006.01)

H 0 4 N 5/445 (2006.01)

H 0 4 N 5/45 (2006.01)

H 0 4 B 1/16 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

H 0 4 N 5/445 Z

H 0 4 N 5/45

H 0 4 B 1/16 G

H 0 4 B 1/16 M

H 0 4 N 5/76 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月29日(2008.9.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置であって、

当該放送受信装置の設置地域情報を格納する格納手段と、

地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得手段と、

前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定手段と、

前記取得手段で取得した放送受信装置制御信号と、前記判定手段による判定結果とに基づいて、前記複数のチューナに対する選局動作並びに前記表示部への表示処理または前記蓄積部への記録処理を制御する制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記地域情報が前記設置地域情報と合致している場合、前記チャンネル指定情報で指定されているチャンネルが、前記複数のチューナのうち第 1 のチューナで受信して前記表示部に表示している映像のチャンネルと異なり、かつ前記第 1 のチューナとは異なる第 2 のチューナで受信しているチャンネルと同じならば、前記第 1 のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする放送受信装置。

【請求項 2】

放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャン

ネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置であって、

当該放送受信装置の設置地域情報を格納する格納手段と、

地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得手段と、

前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定手段と、

前記取得手段で取得した放送受信装置制御信号と、前記判定手段による判定結果とに基づいて、前記複数のチューナに対する選局動作並びに前記表示部への表示処理または前記蓄積部への記録処理を制御する制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記地域情報が前記設置地域情報と合致している場合、前記チャンネル指定情報で指定されているチャンネルが、前記複数のチューナのうち第１のチューナで受信して前記表示部に表示している映像のチャンネルと異なり、かつ前記第１のチューナとは異なる第２のチューナで受信しているチャンネルとも異なるならば、前記第２のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局するとともに前記第１のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする放送受信装置。

【請求項３】

放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置であって、

当該放送受信装置の設置地域情報を格納する格納手段と、

地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得手段と、

前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定手段と、

前記複数のチューナ夫々の使用状態を確認する確認手段と、

前記取得手段で取得した放送受信装置制御信号と、前記判定手段による判定結果と、前記確認手段の確認結果とに基づいて、前記複数のチューナのいずれか１つを用いて前記チャンネル指定情報で指定された番組放送を前記表示部に表示する制御を行う制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルが、前記複数のチューナのうち、第１のチューナ及び第２のチューナでそれぞれ受信しているチャンネルとは異なる場合、前記第１のチューナ及び／又は前記第２のチューナの使用状態に基づいて、前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルを選局するチューナを選択することを特徴とする放送受信装置。

【請求項４】

前記確認手段が、前記第２のチューナが現在から一定期間使用されないことを確認した場合、前記制御手段は前記第２のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局する制御を実行することを特徴とする請求項３に記載の放送受信装置。

【請求項５】

前記確認手段が、前記第２のチューナが現在使用中または一定期間内に使用予定であることを確認した場合は、さらに、前記確認手段が前記第１のチューナの使用状態を確認することを特徴とする請求項３に記載の放送受信装置。

【請求項６】

前記確認手段が、前記第１のチューナが現在使用中または一定期間内に使用予定であることを確認した場合、前記制御手段は前記第２のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局する制御を実行することを特徴とする請求項５に記載の放送受信装置。

【請求項７】

前記確認手段が、前記第１のチューナが現在使用中でかつ、受信しているチャンネルを視聴中であることを確認した場合、前記制御手段は前記第１のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする請求項６に記載の放送受信装置。

【請求項８】

前記確認手段が、前記第１のチューナが現在から一定期間使用されないことを確認した場合、前記制御手段は前記第１のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局する制御を実行することを特徴とする請求項５に記載の放送受信装置。

【請求項９】

放送受信装置の設置地域情報を保持するとともに、放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置の制御方法であって、

地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得ステップと、

前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定ステップと、

前記取得ステップで取得した放送受信装置制御信号と、前記判定ステップによる判定結果とに基づいて、前記複数のチューナに対する選局動作並びに前記表示部への表示処理または前記蓄積部への記録処理を制御する制御ステップと、を有し、

前記制御ステップは、前記地域情報が前記設置地域情報と合致している場合、前記チャンネル指定情報で指定されているチャンネルが、前記複数のチューナのうち第１のチューナで受信して前記表示部に表示している映像のチャンネルと異なり、かつ前記第１のチューナとは異なる第２のチューナで受信しているチャンネルと同じならば、前記第１のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする放送受信装置の制御方法。

【請求項１０】

放送受信装置の設置地域情報を保持するとともに、放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置の制御方法であって、

地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得ステップと、

前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定する判定ステップと、

前記取得ステップで取得した放送受信装置制御信号と、前記判定ステップによる判定結果とに基づいて、前記複数のチューナに対する選局動作並びに前記表示部への表示処理または前記蓄積部への記録処理を制御する制御ステップと、を有し、

前記制御ステップは、前記地域情報が前記設置地域情報と合致している場合、前記チャンネル指定情報で指定されているチャンネルが、前記複数のチューナのうち第１のチューナで受信して前記表示部に表示している映像のチャンネルと異なり、かつ前記第１のチューナとは異なる第２のチューナで受信しているチャンネルとも異なるならば、前記第２のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局し、前記第１のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする放送受信装置の制御方法。

【請求項１１】

放送受信装置の設置地域情報を保持するとともに、放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置の制御方法であって、

地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得ステップと、

前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定ステップと、
前記複数のチューナ夫々の使用状態を確認する確認ステップと、
前記取得ステップで取得した放送受信装置制御信号と、前記判定ステップによる判定結果と、前記確認ステップの確認結果とに基づいて、前記複数のチューナのいずれか１つを用いて前記チャンネル指定情報で指定された番組放送を前記表示部に表示する制御を行う制御ステップと、を有し、

前記制御ステップは、前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルが、前記複数のチューナのうち、第１のチューナ及び第２のチューナでそれぞれ受信しているチャンネルとは異なる場合、前記第１のチューナ及び／又は前記第２のチューナの使用状態に基づいて、前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルを選局するチューナを選択することを特徴とする放送受信装置の制御方法。

【請求項１２】

前記確認ステップで前記第２のチューナが現在から一定期間使用されないことを確認した場合、前記制御ステップでは前記第２のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局する制御を実行することを特徴とする請求項１１に記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項１３】

前記確認ステップで前記第２のチューナが現在使用中または一定期間内に使用予定であることを確認した場合は、さらに前記確認ステップで前記第１のチューナの使用状態を確認することを特徴とする請求項１１に記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項１４】

前記確認ステップで前記第１のチューナが現在使用中または一定期間内に使用予定であることを確認した場合、前記制御ステップでは前記第２のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局する制御を実行することを特徴とする請求項１３に記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項１５】

前記確認ステップで前記第１のチューナが現在使用中でかつ、受信しているチャンネルを視聴中であることを確認した場合、前記制御ステップでは前記第１のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする請求項１４に記載の放送受信装置の制御方法。

【請求項１６】

前記確認ステップで前記第１のチューナが現在から一定期間使用されないことを確認した場合、前記制御ステップでは前記第１のチューナを前記チャンネル指定情報で指定されたチャンネルに選局する制御を実行することを特徴とする請求項１３に記載の放送受信装置の制御方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

さて、日本では１９８５年より、テレビ放送やラジオ放送を通じて、重大な災害や地震の発生などを通知するための緊急警報放送（ＥＷＳ：Emergency Warning System）が運用されている。緊急警報放送の運用にあたり、緊急警報放送に対応する受信機は放送局が送信する緊急警報放送信号を受信した場合、ユーザがテレビやラジオにおいて緊急警報が認識可能となるように動作することが取り決められている。この緊急警報放送は公共放送である日本放送協会（ＮＨＫ）はもとより、多くの民間放送会社でも採用されている。特に、ＮＨＫでは地上デジタル放送、地上アナログ放送、ＢＳデジタル放送など、全ての放送メディアを利用して緊急警報放送を行う。よって、受信機が電源ＯＮ状態のときに緊急警報放送を受信することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

上記目的を達成するために、本発明の放送受信装置は、放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置であって、当該放送受信装置の設置地域情報を格納する格納手段と、地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得手段と、前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定手段と、前記取得手段で取得した放送受信装置制御信号と、前記判定手段による判定結果とに基づいて、前記複数のチューナに対する選局動作並びに前記表示部への表示処理または前記蓄積部への記録処理を制御する制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記地域情報が前記設置地域情報と合致している場合、前記チャンネル指定情報で指定されているチャンネルが、前記複数のチューナのうち第1のチューナで受信して前記表示部に表示している映像のチャンネルと異なり、かつ前記第1のチューナとは異なる第2のチューナで受信しているチャンネルと同じならば、前記第1のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、上記目的を達成するために、本発明の放送受信装置の制御方法は、放送受信装置の設置地域情報を保持するとともに、放送波を受信可能な複数のチューナを有し、当該複数のチューナで同時に複数のチャンネルを受信し、当該受信したチャンネルの映像を表示部に表示または蓄積部に記録可能な放送受信装置の制御方法であって、
地域を特定する地域情報と番組放送チャンネルを指定するチャンネル指定情報とを含む、放送局から送信される放送受信装置制御信号を前記複数のチューナでそれぞれ受信し、当該放送受信装置制御信号を取得する取得ステップと、
前記複数のチューナ夫々の選局状態を判定する判定ステップと、
前記取得ステップで取得した放送受信装置制御信号と、前記判定ステップによる判定結果とに基づいて、前記複数のチューナに対する選局動作並びに前記表示部への表示処理または前記蓄積部への記録処理を制御する制御ステップと、を有し、
前記制御ステップは、前記地域情報が前記設置地域情報と合致している場合、前記チャンネル指定情報で指定されているチャンネルが、前記複数のチューナのうち第1のチューナで受信して前記表示部に表示している映像のチャンネルと異なり、かつ前記第1のチューナとは異なる第2のチューナで受信しているチャンネルと同じならば、前記第1のチューナで受信しているチャンネルの映像を前記蓄積部に記録する処理を実行することを特徴とする。